

編集後記・Editorials

魚類学雑誌
44(1): 69

昨年の43巻1号から新しいスタイルで刊行されました和文誌「魚類学雑誌」は、本年1月より主任編集委員が代わり、2年目を迎えようとしています。

魚類学雑誌は、季刊の英文誌 *Ichthyological Research* と比較して年2号と間があくためか、あるいは英文で論文を書くことが一般化したためか、投稿数が少なく、手持ち原稿に余裕がない状態にあります。質が高く、さまざまな分野の情報が満載された和文誌を発行するためには、今後より多くの会員からの投稿が望まれます。

特に、総説については、各号に1論文を掲載するのがやっと

といった、まさに自転車操業の現状にあります。そこで今後は、分類学、生物地理学、仔稚魚研究、行動学、生態学、生理学、遺伝学、進化学などの各分野におけるホットな論点や課題に焦点を当てた総説を順次掲載できるように、編集委員はもとより広く会員の皆様に、テーマと執筆候補者を推薦していただく方法を取り入れたいと考えております。もちろん、こうした推薦や依頼がなくとも、自発的に投稿が増えるのであれば、これに超したことはありません。

また、本論文と短報についても、最新の資料に基づいて、あるいは手元に眠ったままの貴重な資料を掘り起こしてまとめ、どしどし投稿していただきますよう、お願いする次第です。

(AG)